

1. 科目名 (単位数)	国際理解実習指導 (1 単位)		3. 科目番号	
2. 授業担当教員	阿部 裕子・野口 英美・大橋 真由美			
4. 授業形態	講義、演習、リサーチ、ペア・グループ活動	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係	海外留学入門			
7. 講義概要	この講義では、世界で起こったニュースや歴史的な事件をケーススタディとして取り入れ、基本的な留学に必要な知識を学習する。その知識とは、留学に必要な書類作成や語学・生活知識・学術的知識・サバイバル知識などを含め、異国でも自立して生活する「対話力」「問題解決能力」「自己保安能力」などを実践して学ぶ。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習に対する積極性と主体性を養う</li> <li>2. 自立した問題解決能力と事前準備の向上</li> <li>3. 自分の留学先の国・教育機関・文化などを研鑽して準備に備える</li> </ol>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各回の事前学習と事後学習を参照し、予習と復習を行い、それらを記録しておく。</li> <li>2. 課題①「国際理解実習における学びのプランニング」をレポートにまとめ、第7回授業前に提出する。</li> <li>3. 課題②「国際理解実習において自分が貢献できること・挑戦したいこと」をパワーポイントにまとめ、第12回授業においてプレゼンテーションを行う。</li> <li>4. 最終レポート：留学に必要な語学力・コミュニケーション能力向上を目指し自ら目標を定めた上で、本授業を通して学んだこと、努力したこと、自らの成長についてレポートにまとめて第15回授業後に提出する。</li> </ol> <p>詳細については、講義内で指示する。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 資料は適宜講義で配付する。</p> <p>【参考書】高野幹生 著『留学の真実』IBC パブリッシング (2014/12/24) その他は講義内で適宜紹介する。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準(学習目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義教材や教科書よりの留学に関する体験談や学習資料の予習・復習ができていますか。</li> <li>2. 自分の考え・目標・問題を把握し、問題解決のために自主的に発言、リサーチ、講義発言ができていますか。</li> </ol> <p>○評定の方法 以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中の態度・積極的参加度 総合点の 30%</li> <li>2. 課題 (ライティング、レポート等) 総合点の 30%</li> <li>3. 小テスト 総合点の 15%</li> <li>4. 期末テスト 総合点の 25%</li> </ol> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない</p>			
12. 受講生へのメッセージ	国際理解実習では実際にどのような授業を受け、どのような課題を行うのか、また授業以外の生活はどのようなものになるのか、過去の国際理解実習資料や留学先の教育機関の資料を参照しながら自ら確認していきます。自分自身は、この実習をどのような学びにしたいのか、周囲とどのように関わり、どのような貢献をしたいのかについて、できるだけ具体的に考え、目標や計画を明確にすることが、より充実した留学体験につながります。自主的に情報収集や自己研鑽をし、積極的に自分の意見を発言することが求められます。			
13. オフィスアワー	初回の講義内で通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション 講義の概要 授業の進め方	事前学習	国際理解実習受講希望書を読み直し、自身の留学目標を発表できるようにしておく	
		事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方や課題の記録の仕方等について整理しておく	
第 2 回	国際理解実習の概要	事前学習	配布資料を熟読して国際理解実習の概要について自分なりにまとめておく	
		事後学習	講義内容を振り返り、国際理解実習の概要、目的、意義について整理しておく	
第 3 回	国際理解実習に必要な手続き	事前学習	配布資料を参考に国際理解実習に必要な手続きについて自分なりにまとめておく	
		事後学習	自分に必要な書類作成を行い、各種手続きの提出期限、提出方法などを整理しておく	
第 4 回	留学先の国・地域について	事前学習	留学先の国・地域について自ら情報を収集し、説明できるようにしておく	
		事後学習	講義内容を振り返り、留学先の国・地域の特徴、制度、習慣、食文化などを整理しておく	
第 5 回	留学先の大学・学部について	事前学習	留学先の大学について自ら情報を収集し、説明できるようにしておく	
		事後学習	講義内容を振り返り、大学・学部の特徴、聴講可能授業、構内の様子を整理しておく	

第6回	実習日誌・定時連絡について	事前学習	配布資料を熟読し、実習日誌や定時連絡について自分なりにまとめておく
		事後学習	講義内容を振り返り、実習日誌の書き方や提出方法、定時連絡方法を整理するとともに、課題①のレポートを作成する
第7回	国際教育実習（8単位）について	事前学習	配布資料を熟読し、国際教育実習について自分なりにまとめておく
		事後学習	講義内容を振り返り、授業内容、聴講計画、自分の場合の可能性について整理しておく
第8回	語学授業法理解実習（4単位）について	事前学習	配布資料を熟読し、語学授業法理解実習について自分なりにまとめておく
		事後学習	講義内容を振り返り、授業内容、聴講計画、自分の場合の可能性について整理しておく
第9回	異文化理解実習（4単位）について	事前学習	配布資料を熟読し、異文化理解実習について自分なりにまとめておく
		事後学習	講義内容を振り返り、授業内容、聴講計画、自分の場合の可能性について整理しておく
第10回	授業以外の活動について	事前学習	配布資料を熟読し、授業以外の活動について自ら情報を収集しまとめておく
		事後学習	講義内容を振り返り、実際のボランティア活動やその他の可能性について整理しておく
第11回	留学中の健康と安全、起こりがちなトラブルについて	事前学習	留学中の健康と安全、トラブルについて自ら情報を収集し、自分なりにまとめておく
		事後学習	講義内容を振り返り、健康管理、安全対策、トラブル回避の方法について整理しておく
第12回	学生寮・パディについて プレゼンテーション発表	事前学習	課題②のプレゼンテーションの準備をする
		事後学習	講義内容を振り返り、学生寮、食事、パディとの連絡について整理しておく
第13回	実習レポート課題及び実習成果発表について	事前学習	配布資料を熟読し、実習レポート課題や実習成果発表について自分なりにまとめておく
		事後学習	講義内容を振り返り、課題や発表について自分の場合の可能性を整理しておく
第14回	帰国後、留学経験をつなぐには	事前学習	留学体験をどのように生かすかについて、自分なりに説明できるようにしておく
		事後学習	講義内容を振り返り、帰国後の活躍の場やさらなる学び可能性について整理しておく
第15回	総括：既習内容の振り返り	事前学習	既習内容を総復習し、不明な点がないか確認しておく
		事後学習	これまでの資料や記録を整理し、レポートを作成する
期末試験			